

ぼっけもん

239 おみやげ



薩摩郷句 兼題「世帯」
 放蕩子も 嫁が薬の 世帯魂
 (唱) 有難て嫁ち 姑け拜まれつ 上村 牛歩
 世帯練いの 下手な女房どま 年中ヒス
 (唱) 金せか見れば どんどん使つ 満右うらら
 嫁め行たや 直き身付た 世帯魂
 (唱) 米味噌醤油 実家かい運つ 諸木 小春
 草履靴が 縦横並るだ 大家族世帯
 (唱) 靴が蹴い合つ 狭し玄関 北村 虎王
 貧乏世帯 一間住めでん 固て絆
 (唱) お互い相手を がつちい守つ 二見愚楽満
 縁の良か 女房を貰る出つ 楽な世帯
 (唱) 頭が良かとしじゃろ 有難て事じゃ 上窪 小絵
 世帯ん事ちや 女房い任せつ 今日もゴルフ
 (唱) 文句も言わじ 出来た女房じゃ 西ノ園ひらり

大崎短歌会 兼題「花」
 春風に 誘われて舞う 桜花
 遠くに霞む 大塚の墳丘 実吉 安村
 白木蓮 真つ盛りなり 風吹けば
 まじろむ猫に ゆれる木もれ日 上南 紀子
 笹南天 ビーズの様に 花連ね
 玄関先に 香り漂う 児玉 チツ
 肌をさす 寒さがゆるみ 局の花壇
 三色すみれ いっせいに咲く 高瀬 睦子
 押し花の わすれな草の 絵を貰ふ
 籠はメロンの 皮の網目の 原田 葉子

大崎俳句会
 上を向き 横向きをして 椿落つ
 方言で 車中楽しく 啄木忌 坂元つる子
 野の果は 空に続けり 鳥雲に 三浦 倫子
 畦焼きの 煙に迫はれ 右左 宮下 ノシ
 群がりの 蜂の羽音の 聞こへけり 宮脇 洋子
 春一番 帽子目深に 退院す 桑原 正樹
 内村美恵子



『成長中』

今月の表紙

本町の景勝地くのに松原の松林を散策していると、ふと『幹や松葉にばかり目が行くけれど、枝先を注意して見たことないなあ』と思いパシャリ。写真の中央で上を向いているのが雌花、雌花を取り囲むように雄花、緑色の細いものが松葉です。成長すると『松ぼっくり』に大変身します。(平成29年4月29日撮影)

人権啓発シリーズ

女性らしく・男性らしくって何だろう? ～女性の人権～

女性だから、男性だから、という理由だけで家庭や職場での役割がかたよっていたり、やりたいことができなかつたりすることがあなたの身近にはありませんか。

近年、女性の活躍推進が言われていますが、今なお『女性は家庭、男性は仕事』などの考えが社会の中に残っていて、それが女性の社会参画を阻害する要因になっています。

女らしさ、男らしさでなく、自分らしさを見つけて支えあう社会をいっしょに築いていきましょう。